

[株主のみなさまへ]

第20期 第1四半期 決算のご報告

2023年4月1日から6月30日まで



証券コード:6674

Reborn

1st Quarter Digest

第20期(2024年3月期) 第1四半期 連結業績ハイライト

売上高

1,205 億円
前年同期比 +8.2%

営業利益

48 億円
前年同期比 +35.5%
のれん等償却前営業利益
49 億円

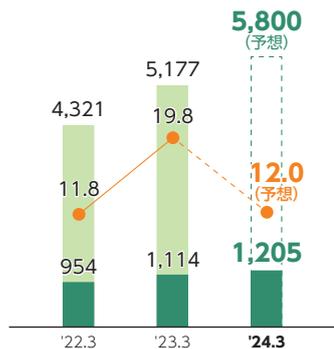
経常利益

49 億円
前年同期比 +119.7%

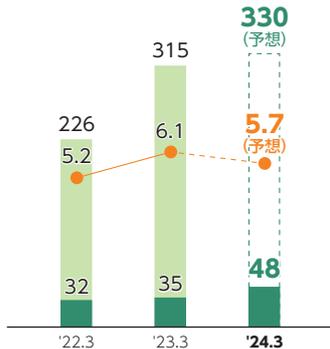
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

16 億円
前年同期比 +169.3%
のれん等償却前親会社株主に
帰属する四半期純利益
17 億円

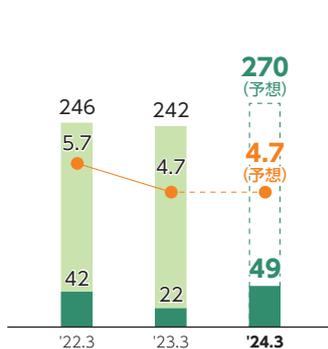
売上高(億円) ■ 1Q ■ 通期
売上高成長率(%) ● 通期



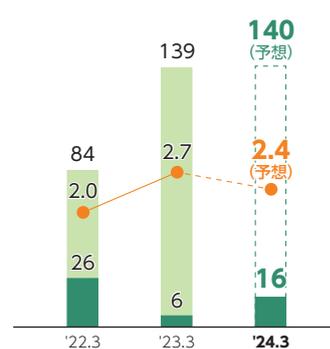
営業利益(億円) ■ 1Q ■ 通期
営業利益率(%) ● 通期



経常利益(億円) ■ 1Q ■ 通期
経常利益率(%) ● 通期



四半期(当期)純利益(億円) ■ 1Q ■ 通期
当期純利益率(%) ● 通期



売上高・営業利益のポイント

- ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量が増加
- 販売価格は正による効果

経常利益・四半期純利益のポイント

- 持分法による投資損益の改善
- 為替差損益の改善

第20期(2024年3月期) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期(累計)	2,600億円	90億円	70億円	25億円
通期	5,800億円	330億円	270億円	140億円

ポイント

第六次中期経営計画初年度として、ハイブリッド車用電池の需要拡大や、海外における鉛蓄電池の販売数量の増加、各種コスト上昇に対する販売価格は正の取り組み・コスト削減を進めることによる収益確保を目指します。

Top Message

売上高および営業利益は、
ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量の増加や、
販売価格是正の取り組みにより過去最高となりました。

平素より格別のご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界経済は、サプライチェーンの回復が進み、自動車生産台数が回復に向かうなど、緩やかに持ち直しの動きが見られますが、エネルギー価格の高騰や物価の上昇によるインフレが継続しています。また景気不振やリスクや金融市場の変動など、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済状況の中、当社グループでは、主としてハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量が増加していることや、販売価格是正の取り組みを進めていることにより、第1四半期連結累計期間の売上高は、1,205億40百万円と前第1四半期に比べて91億11百万円増加(+8.2%)しました。これに伴い、営業利益は48億36百万円(のれん等償却前営業利益は49億47百万円)と前第1四半期に比べて12億65百万円増加(+35.5%)しました。経常利益は持分法による投資損益や為替差損益の改善などにより、49億35百万円と前第1四半期に比べて26億89百万円増加(+119.7%)しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は16億49百万円と、前第1四半期に比べて10億37百万円増加(+169.3%)しました。

また第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想を上回る見通しとなりました。

第2四半期連結累計期間以降も引き続き、販売価格是正などの取り組みを進めてまいります。

代表取締役
取締役社長 村尾 修



特集

Special Issue

Hondaと研究開発の合併会社

「株式会社Honda・GS Yuasa EV Battery R&D」を設立

本田技研工業株式会社(Honda)と株式会社GSユアサは、両社の合併による新会社「株式会社Honda・GS Yuasa EV Battery R&D」を設立し、2023年8月1日より事業を開始いたしました。

近年急速に拡大するバッテリー需要に対応するため、グローバルレベルで高い競争力を持つリチウムイオンバッテリーとその製造方法を研究開発するとともに、主要原材料のサプライチェーンや効率的な生産システムを構築することを目指します。



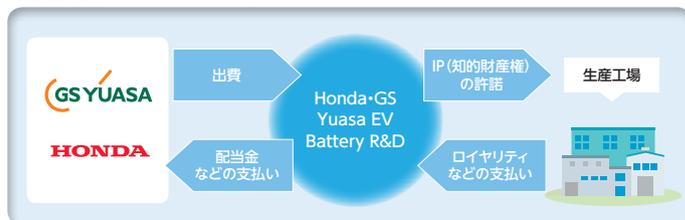
●新会社の概要

社名	株式会社Honda・GS Yuasa EV Battery R&D
所在地	京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地
資本金	資本金20億円、資本準備金20億円
出資比率	株式会社GSユアサ 50%、本田技研工業株式会社 50% (持分法適用会社)

協業の内容

- EV搭載用を中心とした高容量・高出力なリチウムイオンバッテリーおよび、その製造方法についての研究開発
- 研究開発に関する特許などの知的財産の構築および開発
- 研究開発による技術を用いた製品や販路の企画
- 主要原材料のサプライチェーンを含めた効率的な生産オペレーションの設計など

●新会社におけるビジネスのイメージ



詳しい内容はこちら

<https://newsroom.gs-yuasa.com/news-release/109>



助成金(蓄電池に係る供給確保計画)の活用について

当社と本田技研工業株式会社の共同研究開発と株式会社ブルーエナジーを含めた量産投資計画が、経済産業省の「蓄電池に係る供給確保計画」として認定されました。助成金額は1,587億円で土地を除く建物や設備は1/3、研究開発費には1/2が助成されます。この助成金を活用し、BEV用リチウムイオン電池への取り組みをさらに加速させます。

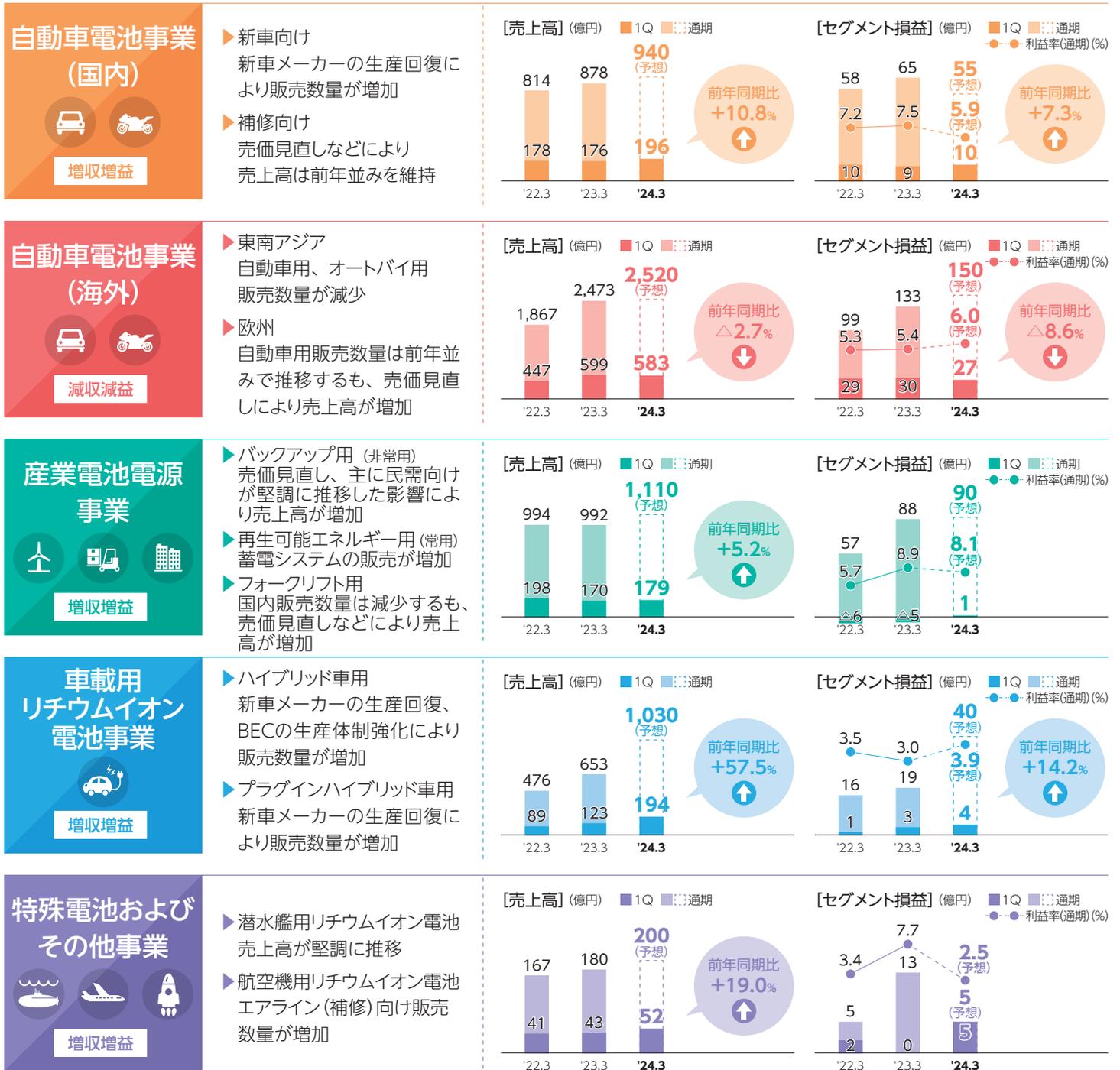
社名	GSユアサ、本田技研工業、ブルーエナジー
事業総額	約4,341億円
助成金額	約1,587億円(最大)
生産規模	20GWh(国内)

詳しい内容は
こちら



<https://newsroom.gs-yuasa.com/news-release/108>

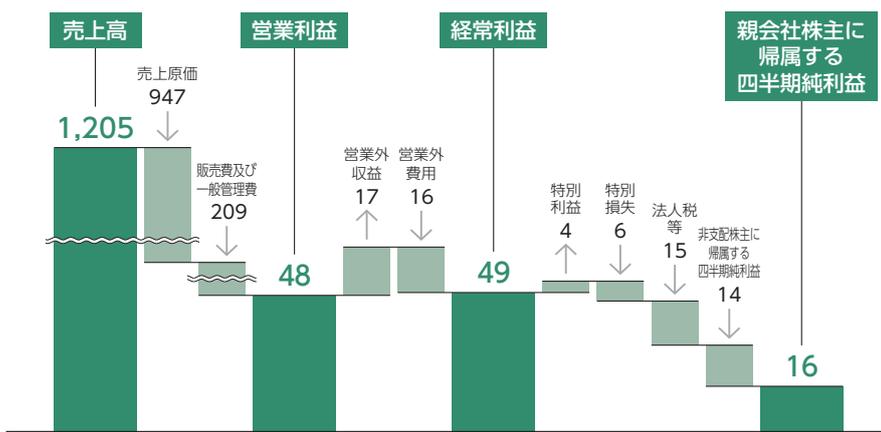
セグメント別連結業績



(注) 1. セグメント損益はのれん等償却前営業利益です。
 2. 2024年3月期より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2023年3月期1Qは、変更後のセグメントにより記載しております。

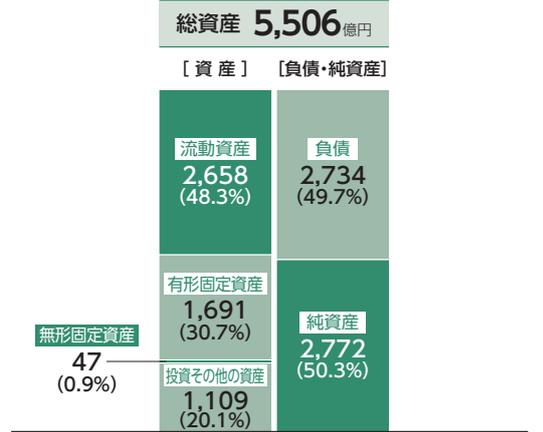
連結損益計算書

[当第1四半期] (2023年4月1日~6月30日) (億円)



連結貸借対照表

[当第1四半期末] (2023年6月30日) (億円)



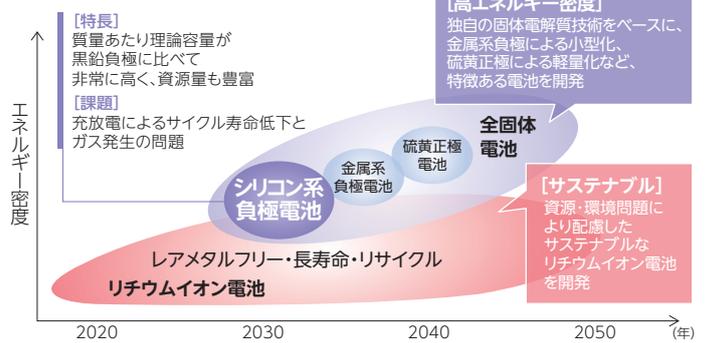
シリコン系負極電池を改良し、次世代電池の実用化に大きく前進 ～高エネルギー密度と寿命性能を両立する技術を開発～

シリコン系負極活物質は、質量あたり理論容量の高さや資源の豊富さなどから次世代電池の新規材料として多くの研究が行われてきましたが、さまざまな課題により実用化が困難でした。

今回GSユアサは、バインダーと電解液などの改良を重ねることにより、高エネルギー密度化と長寿命化を両立する技術を開発しました。この技術を応用し、従来のリチウムイオン電池を上回る400Wh/kgの高エネルギー密度を実証するとともに、200サイクル後のエネルギー密度維持率90%以上、300サイクル後においても維持率85%以上という良好な充放電サイクル寿命性能が得られることを確認しました。なお、このシリコン系負極は、今後の技術革新と普及が見込まれる全固体電池へも適用可能な技術です。



【研究開発ロードマップ】



2023年5月17日のニュースリリースはこちら

<https://newsroom.gs-yuasa.com/news-release/112>



GSユアサが納入した世界最大規模の蓄電池設備が稼働開始 ～北海道北部地域の風力送電網構築に貢献～

GSユアサが北海道北部風力送電株式会社の北豊富変電所(北海道天塩郡豊富町)に納入した世界最大規模の蓄電池設備が、2023年3月から稼働を開始しました。風力発電設備と連系することで風力発電の出力変動を抑制し、システムの安定化に寄与するとともに、GSユアサは今後20年間、保守・メンテナンスを担います。

なお、GSユアサ独自の遠隔監視技術と予測・予兆技術を用いた蓄電池保守サービス「STARELINKサービス」により、リチウムイオン電池全セルの電圧監視や故障監視を常時行い、高い安全性を確保しています。

今後もGSユアサは、リチウムイオン蓄電池設備の拡販を通じて電力の安定化に寄与し、システムの調整力を担うことで、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて再生可能エネルギーのさらなる導入拡大に貢献します。

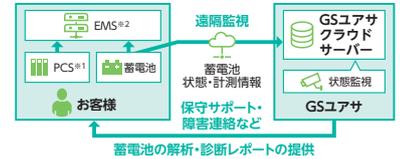
●リチウムイオン蓄電池設備の概要

出力	容量	蓄電池モジュール数	蓄電池セル数
240MW	720MWh	約21万モジュール	約330万セル



提供元：千代田化工建設株式会社

【STARELINKサービス】



2023年6月15日のニュースリリースはこちら

<https://newsroom.gs-yuasa.com/news-release/121>



会社概要 (2023年6月30日現在)

商号	株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション (GS Yuasa Corporation)
事業目的	電池を中心とした事業を営む傘下のグループ企業の経営戦略を策定、統括し、グループの企業価値の最大化を図る。
設立	2004年4月1日
資本金	33,021百万円
本社所在地	京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地 電話(075)312-1211
ホームページ	https://www.gs-yuasa.com/jp/
上場金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場

「GSユアサレポート2023(統合報告書)」 「サステナビリティレポート2023」を発行しました

GSユアサレポート2023



Vision 2035やセグメント戦略、ESG情報を分かりやすくまとめています。

こちらからご覧ください。

<https://ir.gs-yuasa.com/jp/ir/library/annualreport.html>



サステナビリティレポート2023



当社のサステナビリティの取り組みについてまとめています。

こちらからご覧ください。

<https://www.gs-yuasa.com/jp/csr/archive.php>

